

愛しているよと希望は言った

叙情的なアストラルシナリオ。

ある兄妹を中心に繰り広げられる物語。“夢”に誘われ、キャストたちは静かな雨の降る街へ迷い込む。

(掲載日：2016.4.6)

プレアクト情報

PRE-ACT INFO

■シナリオ基本情報

▼作者

水瀬しあ (twitter : @Xia_M)

▼プレイヤー人数

3人

▼想定プレイ時間

4時間

▼シナリオタグ

アストラル、雰囲気もの、夢

●このシナリオについて

叙情的な雰囲気を楽しめることが出来るシナリオだ。アストラルを舞台装置としているが、アストラル専門でないキャストでも問題なく楽しめる。

よくある勧善懲悪のシナリオではないため、事前にマインドセッティングはしっかり行うこと。

●シナリオレギュレーション

本シナリオの想定レギュレーションを以下に記載する。ただし、使用するデータの変更やRLが調整を行った場合、改めてレギュレーションを提示すること。

▼使用経験点

0～30点

▼達成値制限

制限なし。ゲストの最大達成値は21である。ただし、支援によりこれを超えることがある。

▼RLの使用するサプリメント

「TNX」「TOS」

■アクトトレーラー

キャスト作成の前に、以下のアクトトレーラーを読み上げること。これはアクトのイメージを膨らませるのに役立つ。

——静まり返った灰色の街に、雨の音だけが響する

愛してる、と君は言った。
さよなら、と同じ響きで。

——眠り続ける人々は、彼らの平穏を夢に見る
さよなら、と君は笑った。
愛してる、と同じ色で。

——目に見えないものを、心は嘆かないのだから

だから、私は——

トーキョーNOVA THE AXLERATION

『愛しているよと希望は言った』

運命の扉の向こうで、その言葉だけが鳴っている。

■キャスト作成

プレアクトシート（アクトトレーラー、ハンドアウトなど）を参考にキャストを作成すること。

●クイックスタート

本シナリオでは、以下のサンプルキャストを使用することを推奨する。

『①フェイト』：不屈の探偵（『TNX』p83）

『②トーキー』：遊撃記者（『TNX』p84）

『③バサラ』：ニューロエイジの魔術師（『TNX』p101）

●特記事項

精神攻撃への対処手段を持つことを推奨する。ただし防御系神業に余裕があればこの限りではない。

●必要な神業

キャストが神業だけで死亡するのを防ぐため、最低でも1枚の防御系神業が必要である。また、『ユカスボーズ真実』『カミストロフ暴露』『カミストロフ天変地異』についてはシナリオ中に使用を想定される個所が存在する。

●主に使用する技能

本シナリオの情報収集で主に使用する技能は〈社会：ストリート、アストラル〉などである。

■キャスト間コネクション

以下の順番で取得すること。

『①フェイト』→『②トーキー』→『③バサラ』→『①フェイト』

アクトハンドアウト

各キャストには右記の設定が推奨・あるいは追加される。
キャスト作成時によくプレイヤーと相談すること。

各キャストには、以下の設定が推奨・追加される。

- ①『フェイト』：職業不問
- ②『トーキー』：所属不問
- ③『バサラ』：ミューの依頼を受けられるキャストであれば、所属不問

①推奨スタイル：フェイト

SCENARIO HANDOUT

コネ：天ヶ瀬実希

推奨スト：感情

君の友人である少女、天ヶ瀬実希が、眠ったまま目覚めないという。見舞いに訪れた君は、実希の枕元で君宛の手紙を見つける。そこに書かれていたのは、大切な人を探して欲しい、という依頼。それを手に病室を出た君が歩き出した先は、不思議に静かな雨の街だった。

【PS：実希に希望を示す】

②推奨スタイル：トーキー

SCENARIO HANDOUT

コネ：澤中晴希

推奨スト：理性

澤中晴希は、穏やかな風貌だが芯の強い、君の仕事仲間であり友人だ。久し振りに連絡をしてきた彼は、君に頼みたいことがあると言う。それは、彼の妹である天ヶ瀬実希への届け物。引っ掛かりを覚えながらも引き受けた君を待っていたのは、不思議に静かな雨の街だった。

【PS：晴希の願いを聞く】

③推奨スタイル：バサラ

SCENARIO HANDOUT

コネ：ミュー

推奨スト：理性

最近話題になり始めている、「眠りについまま目覚めなくなる」という症状。サイバウェアの不具合か、感染症かと憶測を呼んでいるそれが、ミューは妙に気になるという。もしもアストラルが絡んでいるのなら、それは君の領分だ。調査を開始した君が見たものは、不思議に静かな雨の街だった。

【PS：事件の原因を排除する】

RL用テキスト

TXT 4 RULER

■ストーリー

引っ込み思案な少女、天ヶ瀬実希は、兄である澤中晴希だけを支えに生きていた。しかし生まれつき身体の弱かった晴希は、ある日体調を崩しそのまま帰らぬ人になってしまう。自分の全てを失ったような絶望にとらわれた実希は、肉親の手がかりだと思って大切にしていたペンダント——その正体は魔術具“無何有の壺”——を無意識に使い、晴希の死をその存在ごと忘れて夢の世界に逃げ込む。

実希の哀しみを元に“無何有の壺”が作り出した、何も失うことがない代わりに何も得ることがない世界

は、実希と同じような哀しみを抱いた人々を取り込んで拡大していく。

キャストたちはそれぞれのきっかけから、雨が降り続く実希の夢の世界に入ることになる。実希に晴希のことを思い出させた上で彼女に希望を示し、夢を終わらせることができれば、アクトは終了となる。

■クライマックスの条件

キャストが全ての情報を入手し、『②トーキー』が《暴露》を使用する。

(*)3 発の神業

このルーラーシーンは、晴希の死と魔術具“無何有の壺”の発動を表している。実希は“無何有の壺”の《天罰》に《ブリーズ!》を使用し、晴希の死の記憶を最後の会話ごと封印。彼女の絶望に反応して“無何有の壺”が《天罰》を使用、夢の世界を構築した。

隠匿されている3発目は晴希の《ファイト!》である。《フェイト》の《真実》で実希が記憶を取り戻すと効力を発揮する。

オープニングフェイズ

OPENING PHASE

●オープニング1：傘を失くした夜

シーンプレイヤー：ルーラーシーン

登場：不可

◆解説

雨の音だけのシーン。モノクロームの病室で、ベッドに横たわった青年が少女に手を伸ばし、何かを言う。

◆描写

静かな雨が降り続いていた。

淡々と響くその音が、幕を下ろすように小さな部屋を支配する。

窓の向こうに広がるのは、重く垂れ込める灰色の雲。モノクロームの部屋の中、一人の青年が静かにベッドに横たわっている。

彼はゆっくりと手を伸ばし、傍らに立つ少女を呼び寄せる。近付いた彼女の頬に触れ、唇を彼女の耳元に寄せて、何事かを囁いた。

言い終えた彼の白い頬に、少女も涙と共に言葉を落とす。

その全てを覆い隠すように、雨はただ降り続いていた。

◆結末

描写を読み終えたら、以下の説明をして終了。

説明：このシーン中に3発神業が使われました。1発は、《ブリーズ!》からの《天罰》^{ネメシス}、1発は《天罰》^{ネメシス}。もう1発は現在は隠匿されています。(*)1

No Image

天ヶ瀬実希

マネキン=マネキン=マネキン◎●

▼設定

「天ヶ瀬実希、です。実る希望と書いて、実希」

10代半ばの少女。物心つく前に晴希と共に孤児院に拾われたが、引っ込み思案な性格で友人らしい友人はできなかった。やがて引き取ってくれた里親も亡くし、やはり自分には晴希しかいないと思っていた。しかし友人ができなかったのは、晴希に依存しすぎていたせいなのかもしれない。スタイルの通り、支えてくれる誰かがいなければ生きていけない少女である。

▼神業（実希と共有している。）

■ブリーズ!：OPで“無何有の壺”の《天罰》に使用。晴希の死に関する記憶を封印する。

□□ブリーズ!：実希が使用。

■ブリーズ!（晴希からの《ファイト!》分。《真実》後に使用可能）：EDでPC1の《真実》に使用。PC1にとっての希望を尋ねる。

No Image

澤中晴希

トーキー◎、ミストレス●、マネキン

▼設定

「早く、青空が見えるといいな」

20歳前後の青年。幼い頃、実希と一緒にいるところを孤児院に拾われた。「澤中」は孤児院長の姓。物腰柔らかで押しが弱いのが、譲れないことに関しては頑固とさえ言えるほどの強さを持っている。実希に非常に甘く、甘やかしすぎたとも言える。

▼神業

■ファイト!：OPで実希に使用。「愛しているよ」

●オープニング2：雨は私に降る

シーンプレイヤー：『①フェイト』

登場：不可

◆解説1

回想シーン。実希と『①フェイト』の出会い。実希は自分にとって大切なものは、安物のペンダントと兄だけだと語る。出会いの経緯は実希がなくなったペンダント(※2)探しを想定しているが、プレイヤーの希望があれば変更しても良い。“描写2”へ続く。

◆描写1

イエローエリアの外れで、君は焦ったように辺りを見回している一人の少女を見つけた。動くたびに、長い銀髪がさらりと揺れる。淡い色のワンピースは少しくたびれていて、良家のお嬢様というわけではないようだ。それでも、頼りなげな佇まいはレッガーも行き来するようなエリアにはいかにも不釣り合いで、あまりにも危なっかしい。君が見て見ぬ振りも出来ずにいると、振り返った深い青の瞳と目が合った。

▼セリフ：実希

「……実は、ペンダントを失くしてしまって……高価なものではないんですけど、私にとっては、とても大切なもので……」

「あの……ありがとう、ございました。これ、本当に大切なもので……失くしてしまうなんて、私……」

「天ヶ瀬実希、です。実る希望と書いて、実希」
「私にとって、大切なものはこのペンダントだけ。大切な人は兄さんだけ、なんです」

◆解説2

『①フェイト』の元に実希が眠ったまま目覚めないという連絡が入る。病院へ見舞いに行くと、いつの間にか実希の枕元に『①フェイト』宛の手紙が置いてあり、大切な人がいなくなったので探してほしいと書いてある。

◆描写2

そんな出会いをきっかけに、君と実希は友人とやっていい関係が続けた。実希は気弱で人見知りしがちな少女だが、君には心を許したようだ。

しかしある日、君の元に実希が一ヶ月も眠ったまま目覚めないという連絡が入る。

見舞いに訪れた君を、白く静かな部屋が出迎えた。窓の向こうは泣き出しそうな曇り空。妙に薄暗く感じられる部屋で、身じろぎもせず少女は眠る。

▼セリフ：実希(手紙)

「あなたにお願いがあります。私の大切な人を、探してもらえないでしょうか。きっといつもすぐ傍にいた……たった一人の大切な人。顔も名前も、声もわからないけれど、私は確かに、その人が大好きだったはずなんです。……ごめんなさい、こんなお願いごと、変ですよね。でも、お願いできるのはあなたしかいなく

て……ここは静かで穏やかだけど、とても、寂しいんです」

◆結末

『①フェイト』は手紙を手にも病院を出る。街には人影がなく、静かに雨が降っている。『①フェイト』はいつの間にか手に傘を持っている。(※3)

●オープニング3：雨空の向こうを思う

シーンプレイヤー：『②トーキー』

登場：不可

◆解説

澤中晴希から『②トーキー』に久しぶりに連絡が入り、晴希と一緒にいったことのある喫茶店で会うことになる。不思議に人の気配のない雨音の中、彼は妹の実希に傘を届けてほしいと頼む。(※4)

◆描写

店の中には客どころか店主の姿すらなく、不思議な静寂が漂っていた。君はいつからか席に座って、窓の向こうの雨空を見るともなしに眺めている。思考に霧をかけるような単調な水音をぼんやり聞いていた君の意識を、横からかけられた声が引き戻した。「僕、雨男なんだよね」

▼セリフ：澤中晴希

「晴れた日の澄んだ青が好きなんですけど、僕が見る空は何だかいつも雨なんだ。雨も嫌いなわけじゃないけど」

「急にこんなところに呼び出して、ごめんね。実は、頼みたいことがあって……実希の話、したことあったよね」

「たった一人の僕の妹。あの子に、届けてほしいものがあるんだ」一見黒い傘を差し出す。

「実希は傘を持ってない。だからいつも僕が差し掛けてあげてたけど……もう、そういうわけにはいかないから」

「これは、君にしか頼めないことなんだ。引き受けてもらえないかな」

「(『②トーキー』が引き受ける)よかった。実希を、よろしく」

「あ、君も自分の傘、忘れないようにね」

「早く、青空が見えるといいな」

◆結末

『②トーキー』の傘はいつの間にか手元に置いてある。晴希は雨の中傘を持たずに立ち去り、『②トーキー』が追いかけたとしても追いつくことは出来ない。

(※2) 実希のペンダント

透明なガラスの欠片にチェーンを通したようなもので、飾り氣に乏しく高価なものでもない。

実希が孤児院に拾われた際の唯一の持ち物。そのため実希は肉親の手がかりではないかと思って大切にしているが、それらしい要素はない。

(※3) キャストが手にした傘

キャストには持ってきた覚えがないが、いかにもそれぞれらしい、キャスト自身の傘である。

この夢における雨は哀しみの象徴であり、傘はそれに耐える力の象徴。実希や夢の世界の人々は、傘を持っていないが故に雨そのものを認識しないことを望んだ＝傘をさしていないが濡れていない。

キャストは耐える力を持っている。それが夢の世界に入ると傘(ないし雨を遮るもの)の形で現れる。心のありようなので、ビニール傘だろうがフリスの傘だろうが番傘だろうがレインコートだろうが現れる。

(※4) 人の気配のない店

『トーキー』はこの時点で既に夢の世界に入っている。

●オープニング4：雨の匂い

シーンプレイヤー：『②バサラ』

登場：不可

◆解説

『③バサラ』はミューから眠りについたまま目覚めない人が増えている話を聞く。原因の確証はないが、何となく魔術的な要因である気がするので調べてほしい、とミューは言い、調査費用1 ゴールドと魔術具化したポケットロンを渡す。

◆描写

ミューの呼び出しを受けて、君は聖母の元を訪れた。

▼セリフ：ミュー

「これは、今のところは個人的なご相談なのですが……」

「少し、気になることがあるのです。でも、今のところ本当に感覚的なものでしかないので、公式に調査するのは躊躇われて」

「このところ、N◎VAで眠ったまま目覚めない人が増え続けているのはご存知ですか？」

「真教徒にも同じ症状の方がいて、私も相談を受けたんです。それで……実は私、その方を、夢で見たような気がして」

「よく覚えていないんですけど、とても哀しい夢でした」

「だから、もしかしたらこの件、何かの魔術具が関わっているのではないかと思うんです。できたら、調べてみていただけないでしょうか」

「(『③バサラ』が引き受けた)ありがとうございます。これは調査費用です。それから、これを……」(魔術具化したポケットロンを渡す)

「お守りだと思って下さい。どうか、お気をつけて」

◆結末

『③バサラ』がN◎VAで調査を始めると、急に周囲から人の気配が消える。『③バサラ』はいつの間にか、傘を手に雨の街に立っている。

リサーチフェイズ

RESEARCH PHASE

最初に以下の説明をしておくとうい。

▼街の描写について

ずっと単調に、幕がかかるように雨が降っている。街に人影は極端に少なく、誰も傘を持っていない、しかし不思議と濡れていない。キャストがオープニングで手にした傘はキャストの好きにしていいいが、なくすことはない。手放してもいつの間にか戻ってきている。街の人々は互いを認識していないが、キャストのことは認識する。

▼情報収集について

イベント中は行わない（イベントとして組み込まれているものは除く）

▼登場判定について

場所がどこであっても、〈社会：アストラル〉で登場可能。

●イベント1：忘れ草の夢

条件：リサーチフェイズ最初のシーン

シーンプレイヤー：『①フェイト』

登場：〈社会：ストリート、アストラル〉／SR：イエロー

◆解説

眠っているはずの実希と遭遇するシーン。彼女は兄や里親の存在も、自分が眠り続けていることも認識しておらず、話が噛み合わない。(5) 実希からの手紙を開けば、次のシーン以降【実希からの手紙】をリサーチできる。

◆描写

病院を出て歩いていた君は、雨の向こうにありえない姿を見つける。銀色の髪、淡い色のワンピース。傘を持たずに歩いている少女は紛れもなく、眠っているはずの天ヶ瀬実希だ。

▼セリフ：「実希」

「『①フェイト』さん。こんにちば」

「(昏睡状態について) いえ、今日はどちらかというところ早起きしましたけど……？」

「(大切な人について) ……ちょっと思いつかないです」

「(手紙について) 私の字、みたいですけど……でも私は、寂しいなんて……」

「確かに私は一人ぼっちですけど、ずっとそうでしたし、私にとってはそういうもので……私は、寂しいんでしょうか……？」

「すみません、私、これで……」

◆結末

“実希”は『①フェイト』との会話で疑問を抱き、表情を曇らせて立ち去る。以後会うことは出来ない。

●イベント2：溢れひたす間

条件：【眠り続ける人々】の情報項目が全て開示される。

シーンプレイヤー：『③バサラ』

登場：〈社会：ストリート、アストラル〉／SR：イエロー

◆解説

合流シーン兼未希の顔見せシーン。謎の影(文字通り影)の襲撃を受ける。カット進行後、黒髪に黒ずくめ、冷たい瞳の少女(未希)が現れる。彼女は街の安寧をキャストが乱れていると言いい、下手に深入りせずおとなしく暮らせと牽制する。

◆描写1

君が雨のストリートを歩いていると、不意に周囲のビルや木立の隙間から、漏れ出すように黒い影が立ち込める。それはおぼろげに人の形を取り、瞬間に君を取り囲んだ。

◆カット進行

カット進行が発生する。敵は以下のとおり。

・忘却の名残(カゲ・トループ) × 2 / CS : 4

トループの人数はそれぞれ21体とし、『バサラ』の前後それぞれ近距離に配置する。敵のデータは『TNX』P288のものを使用する。他キャストが登場する場合、『③バサラ』のエンゲージに登場してよい。

◆描写2

君達を襲った影が溶けるように消えた後、通りにはいつの間にか一人の少女が立っていた。全身を黒い服に包み、長い黒髪を靡かせる少女。黒い瞳は凍えるような温度で君達を見つめている。しかし、『①フェイト』にはわかる。その黒を除けば、顔立ちも背格好も、天ヶ瀬実希に瓜二つだ。

▼セリフ：未希

「貴方達ね、招かれざる客は」

「(黒い影について) あれも貴方達と同じ、この街にあってはならないもの。貴方達があれを持ち込んだ」

「私は未希。未だ希まると書いて、未希」

「変に嗅ぎ回るのはやめなさい。この街は今のままで幸せなの。貴方達も、ここで静かに暮らせばいい」

◆結末

言うべきことを言ったら、未希は立ち去る。次シーン以降、【未希】についてリサーチが可能。

(5) 話がかみ合わない

実希本人ではある。兄や里親の存在に繋がる一切を忘れているが、それ以外のことは正しく答える。

●イベント3：僕のいない明日

条件：晴希のアドレスに向かう。

シーンプレイヤー：『②トーキー』

登場：(社会:ストリート、メディア、アストラ) / SR:イエロー

◆解説

晴希と改めて会話する。晴希は実希に近付けなかったこと、辛い現実を思い出させるものとして世界から排除されようとしていることを語る。実希をこの夢から覚まさせてほしいと改めてキャストに依頼し、彼は消滅する。

◆描写

君の連絡に応じた晴希は、少し哀しげな表情で君を出迎えた。

「……色々、黙っていて、ごめんね」

そう謝った彼の姿が、蜃気楼のように不自然に揺らぐ。

▼セリフ：晴希

「実希に会いに行こうとしたけど、実希には僕が見えないみたいだし、僕も実希に近づけないんだ」

「ここは、実希の夢なんだね。それで実希は、僕をなかったことにしたいんだ。だから僕は、もうここにいられない」

「無理もないんだよ。あの子は、亡くしすぎたから」

「現実を知っている君達も、危ないかもしれない。巻き込んでしまって、本当にごめん」

「実希を、現実に戻してあげて欲しい。夢を見ることも、逃げることも、僕は悪いことだとは思わないけど……この夢は、醒めなくちゃいけないと思うから」

「……実希を、頼んだよ」

◆結末

最後の言葉を残して晴希の姿が消え、シーン終了。晴希は完全に消滅し、その後連絡を取ることはできない。

●イベント4：見えないものを嘆きはしない

条件：『●イベント2：溢れひたす闇』後、『①フェイト』が『違和感の正体』の情報を入手する。

シーンプレイヤー：『①フェイト』

登場：(社会:ストリート、アストラ) / SR:イエロー

◆解説

未希から再度牽制を受けるシーン。彼女はこの街にいる者はこのままで幸せなのだと繰り返す。誰とも触れ合わなければ傷つくこともない、希望がなければ絶望もないと。この街に来られるということは、キャストもどこかでそういった願いを持っているはずと言う。(6)

◆描写

君の行く手に、再び未希が立ちはだかる。低い屋根の上に腰かけて、冷たい目で君を見下ろした。

▼セリフ：未希

「嘆ぎ回るのはやめると、言ったはずよ」

「この街の人たちは今のままで幸せなのに、貴方達はそれを壊そうとしている」

「この世界にいるのがどんな人達かわかる？ みんな現実なんて嫌いな。現実なんて辛いことばかりだから」

「だから、何もかも始めからなかったことにしてしまえばいい」

「何も得なければ何も失うことはない。喜びを知らなければ哀しむこともない」

「ここにいる人達は、誰もがそれに賛成したのよ。貴方達だって、どこかで思っているでしょう。傷つかずに生きていきたいと」

◆結末

キャストの答えを聞いて、未希は一時撤退しシーン終了。

●イベント5：潔らかな娘の糸

条件：上記のイベント全て発生後、全ての情報が開示

シーンプレイヤー：『③バサラ』

登場：(社会:ストリート、アストラ) / SR:イエロー

◆解説

情報整理兼最後のリサーチシーン。ミュウから『③バサラ』のポケットロンに連絡が入る。情報項目【夢の終わり】についてシーン内でリサーチが可能。

◆描写

突如、『③バサラ』のポケットロンが鳴る。元々持っていた方ではない、お守りだと言ってミュウから渡された、あのポケットロンだ。

「ああ、良かった！ やっと繋がりました……！」

▼セリフ：ミュウ

「あの後、あなたまで眠ってしまったと連絡があったんです。ご無事ですか？ どんな状況ですか？」

(状況を説明した)「“無何有の壺”、ですか……あまり強引なことをすると、その実希さんという方が危険ですね。そもそも、“無何有の壺”はそれなりの自衛能力も持っているはずですから……」

(《夢の終わり》についてリサーチ)

(《暴露》^{エクスポーズ}について、必要そうならヒントを出す)「そこが夢の世界だと、皆さんに実感させることが出来ればいいんですよね？ 何が明らかにおかしい光景とか……現実を思い出させられるものとかが……？」

◆結末

状況を整理し、キャストが《暴露》^{エクスポーズ}を使う意思を固めた次のシーンへ。

『クロス・ザ・ライン』掲載の追加ルール、SPSを採用している場合、【SPS:雨の夢を終わらせる(5経験点)】をキャスト全員に渡す。シーンを終了する。

(※6) そういった願いを持っているはず

これは事実ではない。それぞ内部から招かれたので入っている(『①フェイト』は実希に、『②トーキー』は晴希に、そして『③バサラ』は排除対象として“無何有の壺”に)。しかしキャスト的に同調してくれるのであれば歓迎である。

●イベント6：天使の階^{きざはし}

条件：「●イベント5：潔らかな娘の糸」後、任意

シーンプレイヤー：『②トーキー』

登場：全員自動登場

◆解説

《暴露》^{エクスポーズ} 使用想定シーン。《暴露》により人々が夢から消えると、世界は降り続く雨と灰色の雲、そして実希だけになる。

◆描写（《暴露》後）

雨の降る街のあちこちで、人々が足を止める。ある者は何かに呼ばれたように、ある者は何かを思い出したように……またある者は、何かを諦めたように。次々に人々は姿を消し、その度に世界の一部が硝子のように砕ける。

そうして、雨の街から完全に人の気配が消えた頃。君達は、膝を抱えてうずくまる銀髪の少女の前に立っていた。

◆結末

描写を終えたらそのままクライマックスへ。

■情報項目

リサーチフェイズ開始時に調べることが出来る情報項目は以下のとおり。

全員共通：雨の降る街

『①フェイト』：天ヶ瀬実希

『②トーキー』：天ヶ瀬実希、澤中晴希

『③バサラ』：眠り続ける人々

◆天ヶ瀬実希

〈社会：ストリート〉〈コネ：天ヶ瀬実希、澤中晴希〉

10 10代半ばの銀髪碧眼の少女。マネキン〇。孤児院育ちで、引き取ってくれた里親も昨年事故で亡くしている。

12 一ヶ月近く眠ったまま目覚めなくなっている。それ以前から、どこか落ち込んだ様子ではあったらしい。

14 人見知りする性質で、友人らしい友人は『フェイト』くらい。大切なものは、兄の澤中晴希と肉親の手がかりかもしれないペンダントだけだと語ったことがある。 →【澤中晴希】

◆実希からの手紙

〈知覚〉〈心理〉〈コネ：天ヶ瀬実希〉

7 大事な人を探してほしいという依頼の手紙。だが、その「大事な人」の名前が最後まで書かれていない。

12 文面から察するに、実希自身それが誰なのか思い出せないようだ。（《ブリーズ！》からの^{ネメシス}《天罰》が使用されている）

◆澤中晴希

〈社会：ストリート、メディア〉

〈コネ：天ヶ瀬実希、澤中晴希〉

7 紅茶色の髪と瞳、穏やかな風貌をした20歳後の青年。T.F.のトーキーで、主に孤児を支援する活動をしている。『②トーキー』の友人。

10 自身も孤児院の出身。幼い頃、実希と2人でいたところを保護された。実希は里親に引き取られたが、晴希は孤児院に残り、時々実希の様子を見に行っていた。

13 ここ1ヶ月ほど連絡が取れなくなっていた。

→【晴希の近況】

◆眠り続ける人々

〈社会：聖母殿、アストラル〉

10 N〇VAのあちこちで、眠ったまま目覚めなくなる人間が増えつつある現象。サイバーウェアの不具合か感染症かと噂されているものの、原因は定かでない。ただ、患者は精神的に落ち込んでいた人物に多いようだ。

13 現在この症状を呈している患者のうち、最初に眠りについたのは【天ヶ瀬実希】という少女らしい。 →【天ヶ瀬実希】

16 【“無何有の壺”】と呼ばれる魔術具が引き起こしている現象である。 →【“無何有の壺”】[イベントトリガー]

◆雨の降る街

〈社会：あらゆる業界社会〉

10 構造上はいつものN〇VAに見えるが、人影が極端に少なく、しかも街の人々は互いを認識していないらしい。妙な静けさはそのせいもある。

14 しかし、違和感を抱いているのは君達だけのようだ。 →【違和感の正体】

◆未希

〈知覚〉〈心理〉〈コネ：天ヶ瀬実希〉

10 実希と瓜二つだが、黒髪で黒ずくめ、冷たい視線の謎の少女。マネキン〇

15 実希の精神の裏側を具現化したような存在。一部とはいえまざれもなく実希自身である。（神業も実希と共有している）

◆晴希の近況

〈社会：ストリート、メディア、アストラル〉

〈コネ：天ヶ瀬実希、澤中晴希〉

- 13 元々病弱な体質で、孤児院に残っていたのもそれが理由。ここ数年は普通に仕事ができるほど安定していたが、一ヶ月ほど前に悪化し、そのまま死亡した。
- 18 『②トーキー』は“晴希”の呼び出しに応じた時点で、この不思議な雨の街に引き込まれていたようだ。〔晴希のアドレス〕を入手。晴希に連絡をつけることができる)

◆“無何有の壺”(*7)

〈社会：聖母殿、アストラル〉

- 10 ペンダントに加工された、一見ただの硝子の欠片。クロガネ◎。天ヶ瀬実希が所持している。
- 15 深い哀しみを鍵として、持ち主の精神にその者にととの理想郷を作り出す（オープニングの《天罰》）。一度発動すると、似た哀しみを抱いた人間の精神を巻き込んで共同幻想とし、宿主の精神が崩壊するまで世界を拡大し続ける。
- 18 作り出された世界を破壊するには神業が必要。また発動中に宿主の意思に反して破壊された場合、宿主の精神が即座に崩壊する危険がある。
(*8)

◆違和感の正体

〈社会：アストラル〉〈コネ：末希（天ヶ瀬実希）〉

※この項目を開くには、【“無何有の壺”】の情報を得ている必要がある。

- 12 実希が絶望のあまり、“無何有の壺”と呼ばれる魔術具を無意識に発動させて作り出した夢の世界である。エキストラは夢に取り込まれ、辛かった現実を忘れてしまう。→【“無何有の壺”】
- 15 君達が違和感の正体に気付いたことに、末希も気付いたようだ。〔イベントトリガー〕

◆夢の終わり

〈社会：アストラル〉〈コネ：ミュウ〉

※バサラが「●イベント5：潔らかな娘の糸」中にリサーチする場合、最終項目の目標値 21 → 18

- 13 実希は絶望の原因である晴希の死を彼の存在ごと封印している。自分からその事実に向き合おうとはしないだろう。（《真実》が必要。なお、末希は《真実》対象にならない）
- 16 本当の実希は現在行ける限りの場所にはいない。“無何有の壺”共々、この夢の世界の中心に閉じこもっていると思われる。
- 21 共同幻想によって世界を広げている人々にこれが夢であることを自覚させ、現実へと解放することにより、夢の世界の中心を暴くことが出来る。（《暴露》を使用すると実希のアドレスへ移動。クライマックスとなる）

(*7) “無何有の壺”

何故硝子の欠片が“壺”なのかというと、由来は“壺中天”である。「俗世間からかけ離れた別世界」というような意味で、自分だけの内面世界という解釈もされる。“無何有の壺”も理想郷を意味する。ちなみに有名なパンドラの箱も、本来は箱ではなく壺（ピトス）だったとも言われる。

(*8) 作り出された世界を破壊

神業は《天変地異》を想定。ただし実希の哀しみを解決しないうちに使うと実希が死亡し、PC1と2のPS達成が失敗する。いずれにせよ“無何有の壺”に神業が残っている間は神業で対抗される



このシナリオについて

この物語の骨子は、「希望とは何か」とキャストに問うことにある。そのため、フェイト枠以外のキャストにも、何らかの形でその問いを投げることができる。キャストの数だけ違う答えがあるだろう。

ちなみにクライマックスまでクリアした後に『①フェイト』がPS達成に失敗した場合（希望を示せなかった場合）、キャストは《天変地異》で脱出することが出来るが、実希は現実に戻ることを拒絶し、永遠に眠り続ける。

クライマックスフェイズ

CLIMAX PHASE

●追憶に凍る

◆解説

実希に近付こうとすると未希が遮り、カット進行へ。
未希はリサーチフェイズでは持っていない“無何有の壺”をいつの間にか持っている。

◆描写

それは非日常的な光景だった。見渡す限り、灰色の大地と灰色の空。空からは変わらぬ雨と、硝子に似た欠片が降る。欠片の一つ一つに、砕けた世界の一部が映っている。膝を抱えてうずくまる少女は、顔を伏せているが確かに実希だ。雨の街で会った時には濡れていなかったその髪も服も、今は重そうに濡れている。

▼セリフ：未希

「思い切ったことをしてくれたわね」
「でもこれで、こちらも容赦はいらないというわけね。貴方達を排除して、夢をやり直す」
「夢に逃げることがどうしていけないの？ 深く傷つくくらいなら生まれてきたくなかった、そう思うのが私だけだなんて言わせないわ」

「好きな人を失ったら、貴方達だってそんな現実から目を背けたくなるはずよ」
「もう何も見たくない、何も聞きたくないの！ “私”の幸せを邪魔しないで！」

◆カット進行

カット進行が発生する。敵は以下のとおり。

- ・未希／CS：9
- ・“無何有の壺”／CS：7
- ・忘却の名残（カゲ・トループ）×1／CS：4
トループの人数は21体とし、データは『TNX』P288のものを使用する。

キャスト達を1エンゲージとし、未希と“無何有の壺”が同一エンゲージ、カゲトループが別エンゲージで、いずれもキャストから近距離に配置する。

トループは未希や“無何有の壺”の支配下にないため、ゲストが倒れても戦闘を継続する。

未希を倒しても実希が傷つくことはない。

◆結末

カット進行が終了したらエンディングへ。

エンディングフェイズ

ENDING PHASE

●エンディング1：青い空の波の音

シーンプレイヤー：『①フェイト』

登場：全員登場

◆解説

《真実》使用想定シーン。《真実》^{トループ}が使用されると、オープニングで晴希が実希に言った言葉「愛してる」が聞こえるようになる（オープニングで隠されていた神業の残り1つ＝晴希から実希への《ファイト！》が効力を発揮する）。実希は『①フェイト』に、生きる希望とは何かと問う。

『①トーカー』の届け物もここで達成することを想定している。実希が黒い傘を開くと、内側には鮮やかな青空が描かれている。

◆描写（《真実》後）

静かな雨が降り続いていた。
淡々と響くその音が、幕を下ろすように小さな部屋を支配する。

窓の向こうに広がるのは、重く垂れ込める灰色の雲。モノクロームの部屋の中、一人の青年——晴希が静かにベッドに横たわっている。

彼はゆっくりと手を伸ばし、傍らに立つ妹を呼び寄せる。近付いた彼女の頬に触れ、唇を彼女の耳元に寄せて囁いた。

「……愛してるよ、実希」（《ファイト！》to 実希）

言い終えた彼の白い頬に涙を零して、実希も掠れた声で呟いた。

「私も……兄さんが、大好きよ」

晴希は穏やかに微笑んで、そっと実希の涙を拭う。

その全てを見守るように、雨はただ降り続いていた。

▼セリフ：実希

「……あなたにも、哀しいことはあったでしょう」

「それでも、あなたは生きるんですね。何を希望として、それができるんですか？」（『①フェイト』の《真実》^{トループ}に《ブリーズ！》。『①フェイト』自身に対して《真実》^{トループ}を使用させる）

◆結末

『①フェイト』が答えたら次のシーンへ。

●エンディング2：愛しているよと希望は言った

シーンプレイヤー：『③バサラ』

登場：全員登場

◆解説

《天変地異》使用想定シーン。《天変地異》で夢の世界を破壊すると、雨が上がり、青空から希望そのもののような光が降りる。

◆描写（《天変地異》後）

一陣の風が吹いた。雨が上がり、雲が晴れる。ひどく懐かしいような澄んだ青空が、君達の頭上に広がった。柔らかな光が、暖かく君達に降り注ぐ。それはまるで、希望そのものからの伝言のように。（『キャストが信じる希望』から、キャスト全員に1発ずつ《ファイト！》）

◆結末

キャストの反応を描写して個別エンディングへ。

以下に提示するのはエンディングの一案である。プレイヤーからの要望に合わせて、自由に変更して構わない。

●エンディング3：待つ人

シーンプレイヤー：『③バサラ』

◆解説

ミューから労われる。

◆描写

報告に戻った君に駆け寄って、ミューは笑顔を浮かべた。

「お帰りなさい。ご無事で何よりです」

▼セリフ：ミュー

「今回の件は、人々の深い哀しみが絡み合った結果だったのですね」

「傷ついたり哀しんだりしたくないと思う気持ちは理解できますし、“無何有の壺”はその願いを叶えたただけとも言えます」

「私も、時々迷うんです。ひどく傷ついて生きる希望を失ってしまった人に、どんな言葉をかけたいのか……あなたは、希望とは何だと思えますか？」

◆結末

『③バサラ』の答えを聞いたところでシーン終了。

●エンディング4：彼が望んだ晴れの色

シーンプレイヤー：『②トーキー』

◆解説

晴希の行きつけの喫茶店（オープニングの現実版）で主人と思い出話をする。※この主人のキャラクター性は一例であり、RLに委ねる。

◆描写

君は、晴希のお気に入りだった喫茶店を訪れていた。あの雨の街ではひどく静まり返っていたそこは、今は温かな人の気配に満ちている。君の前に注文の品を置いて、馴染みの女店主はふわりと微笑んだ。

「はい、おまちどおさま」

▼セリフ：店主

「……晴希君、亡くなったんですってね」

「彼、いつも妹さんの話をしていたわ。彼女が笑うと瞳の青がまるで晴れた日の空みたいに澄んで、とても綺麗なんだって」

「きっと晴希君にとっては、妹さんが生きる希望だったのね。あなたにも、そんな何かがある？」

◆結末

『②トーキー』の答えを聞いたところでシーン終了。

●エンディング5：夢見たものは……

シーンプレイヤー：『①フェイト』

◆解説

目覚めた実希と青空の下で話をするシーン。実希は『①フェイト』にお礼を言う。共通エンディングでの『①フェイト』の答えに対応して、何かしらの希望を見出している。

◆描写

しばらく後、よく晴れた日曜日。長い昏睡による衰弱状態から回復して退院した実希から、改めてお礼を言いたいと連絡があった。

▼セリフ：実希

「ありがとう、ございました」

「黒い髪の“私”が言ったことは、確かに私の本心でもありました。でも、やっぱり私は寂しかったんです。兄さんのこと……今でも、辛いけど……でも、忘れてしまうのは、もっと寂しい」

◆結末

『①フェイト』にお任せ。

未希

マネキン=マネキン=マネキン●●

▼設定

「何も得なければ何も失うことはない。喜びを知らなければ哀しむこともない」

絶望のあまり夢に逃げ込んだ実希の悲観的な心が具現化した姿。実希がどんな心情から何をしたか全て理解しており、夢の世界を維持して実希(=自分)の心を守ろうとする。

▼神業

■□□ブリーズ!

▼能力値/制御値

♠理性: 3 / 9 ♣感情: 9 / 15
♥生命: 6 / 15 ♦外界: 3 / 9

▼戦闘データ

【CS】 9 【AR】 1
【防御力】 S:0 / P:0 / I:0

▼一般技能

4 ♠♣♥♦ ★心理
2 ♠♣♥♦ ★交渉

▼スタイル技能

5 ♠♣♥♦ 大嫌い (TNX194)
2 ♠♣♥♦ 毒舌 (TNX194)
1 ♠♣♥♦ 誘惑 (TNX194)
1 ♠♣♥♦ †アドレナライズ (TNX195)
2 ♠♣♥♦ †魔女の呪い (TNX195)

▼アウトフィット

・サイコストライク電: 13 / 隠: 15 (TNX254)
与える精神ダメージに常に+1
・ディープスリート電: 15 / 隠: 15 (TNX254)
マイナーで使用。シーン中、与える精神ダメージに+3
・イノセントノート電: 19 / 隠: 13 (TOS103)
電子ペーパーノート

▼戦闘プラン

最初のセットアッププロセスで〈アドレナライズ〉を使用。自身の【CS】をカット終了まで+〔判定に使用したカードの数字〕する。シーン1回のみ。

マイナーアクションでディープスリートを使用。メジャーアクションでは〈心理〉〈交渉〉〈大嫌い〉〈毒舌〉〈†魔女の呪い〉を組み合わせ、近距離までの対象に精神攻撃を行う。判定値は+1で、ダメージは11+〔カードの数字〕。この攻撃で1点でもダメージを受けた場合、対象に〔BS: 重圧〕を与える。

《ブリーズ!》はいずれも“無何有の壺”の《天罰》に使用し、1発は即死系(《神の御言葉》相当)、1発は防御系神業として使用する(キャストの神業構成次第では変更しても良い)。

“無何有の壺”

クロガネ●、アヤカシ●、ハイランダー

▼設定

精神に干渉する魔法具。持ち主の絶望に反応し、持ち主にとっての理想郷を作り出す。自身に意思は無く、宿主が望む世界の善悪を評価することもない。作り出した世界を破壊されると、硝子のように砕け散る。実希が持っていた硝子の欠片は、いつか誰かが願った世界の残滓かもしれない。

▼神業

□万能道具: 天罰 □霧散 ■天罰

▼能力値/制御値

♠理性: 5 / 15 ♣感情: 5 / 14
♥生命: 5 / 7 ♦外界: 6 / 12

▼戦闘データ

【CS】 7 【AR】 1
【防御力】 S:0 / P:0 / I:0

▼一般技能

なし

▼スタイル技能

1 ♠♣♥♦ フォルム: ガジェット (TOS66)
3 ♠♣♥♦ フォルム: ストラクチャ (TOS66)
1 ♠♣♥♦ 救済の天使Ⅱ (TOS101)
1 ♠♣♥♦ ※フォルムスイッチ (TOS70)
1 ♠♣♥♦ ※幻想結界 (TOS79)
1 ♠♣♥♦ ※救済の天使 (TNX217)

▼アウトフィット

・ウェット電: - / 隠: 制 (TNX258)
サイバウェアを一切取得していない
・結界石(シールストーン).....電: - / 隠: 15 (TNX256)
メジャーで使用。そのシーンへの登場判定の目標値に+3。フォルム: ガジェット時の本体

▼戦闘プラン

最初のセットアッププロセスで〈※フォルムスイッチ〉を宣言。自身の制御値を+3する。(*9) 未希が判定する際に〈※救済の天使〉(救済の天使Ⅱ)を組み合わせ使用し、達成値を+〔カードの数字〕する。目標値は9(未希の制御値)。アクト1回までARを消費せずに使用可能。

またキャストが判定する際に〈※幻想結界〉を使用し、達成値を-〔カードの数字〕する。目標値は相手の制御値。

(*9) 〈フォルムスイッチ〉

夢の世界は“無何有の壺”の内部にあり、実際は回想シーンを除きアクト開始時から“無何有の壺”のフォルムはストラクチャである。ここでは、プレイヤーにわかりやすいように敢えて〈フォルムスイッチ〉を宣言することとしている。

■本作品について

本作品は、株式会社エンターブレインより刊行された『トーキョーN◎VA THE AXLERATION』や、その関連商品を取り扱った二次著作物（シナリオデータ）です。

『トーキョーN◎VA THE AXLERATION』とその関連商品、および『ゲーマーズ・フィールド誌』は、有限会社ファースト・アミューズメント・リサーチの著作物です。

本書の内容はフィクションであり、実在する歴史上の人物、団体、地名などとは一切関係がありません。

また、本書は特定の思想、信条、宗教などを擁護あるいは非難する目的を持って書かれたものではありません。

■利用規定

本作品は無料で自由にアクトに利用することが出来ます。

ただし、シナリオを使用した際には必ず、作者にシナリオやアクトの感想を送ってください。

シナリオ製作者にとって、なによりの励みは感想を貰えることです。

ホームページ (<http://dappleox.web.fc2.com/nova/NeuroCrowD/>) の各シナリオのダウンロードボックス内のツイートボタンを押し、感想ツイートを投稿してください。

(このため、本シナリオを使用するには twitter アカウントが必要になります)

また、シナリオの利用の際には以下の規約をお守りください。

- ① シナリオの著作権は各シナリオの作者にあります。
- ② シナリオの再配布、商用利用はご遠慮ください。
- ③ 投稿されているシナリオを利用したリプレイやプレイ動画の公開、あるいはコンベンションイベントでの使用など、特殊な使い方に関しては事前に作者に連絡を取り、可否を確認してください。

トーキョーN◎VA THE AXLERATION 投稿型シナリオ共有サイト

NeuroCrowD

投稿シナリオ No.024 『愛してるよと希望は言った』

発行日：2016.4.6

執筆（著作権者） 水瀬しあ

イラスト なし

企画 ニューロ／CD製作委員会

DTP まだら牛

素材 Z-design

連絡用メールアドレス：dapple_ox@gmail.com

サイトURL： <http://dappleox.web.fc2.com/nova/NeuroCrowD/>